

「北鹿浜小学校・鹿浜西小学校 統合施設建設事業」

基本構想・基本計画書

目 次

I 基本構想

基本方針	1
------	---

II 基本計画

基本方策	3
------	---

III 資料編（基本構想）

1 敷地概要	6
2 施設概要	8
(1) 施設規模	
(2) 標準施設一覧	
3 配置計画の比較表	10
4 外観イメージ（案）	11
5 ゾーニング（案）	13
6 スケジュール（案）	14

IV 資料編（基本計画）

1 配置計画（案）	15
2 平面計画（案）	16
3 施設一覧	21

基本方針

出会いと発見の学び舎

北鹿浜小学校・鹿浜西小学校の2校の統合により、両校の児童、学校の歴史、地域の人々が交わります。統合を通して新たな「出会いと発見」が生まれることで、より豊かな教育環境を提供する学び舎を目指します。

新たな出会いと発見を生む、充実した学習環境

1 快適で安全な生活環境が整った施設（P 3 参照）

学校は、「教育の場」であるとともに児童が一日の多くを過ごす「生活の場」です。快適な生活空間を確保し、学校全体の防犯体制や安全管理を徹底します。

2 時代の変化に対応できる施設（P 3 参照）

児童一人ひとりの個性を伸ばし、生きる力・考える力・課題を解決する力を育むために、様々な教育内容や教育手法に適応し、時代の変化にも柔軟に対応できる施設とします。

3 成長を実感できる教育施設（P 3 参照）

児童の学ぶ意欲をより高めるため、集中して学習できる環境を整備します。さらに、一階部分には、保護者や地域の方々の滞在スペースを、センターホールや図書室、特別活動室などと一体的に整備し、学校に関わる人たちが子どもたちの成長を感じ取れる施設とします。

4 情報社会に対応できる施設（P 3 参照）

校舎内のICT環境を整備して必要な情報や知識を手に入れやすくします。また、児童が本に親しめる空間として、1階の図書室と各階の図書コーナーを充実させ、得られた情報を学習に結び付けやすい環境を整えます。

地域の拠点となる学校

5 地域のシンボルとしての施設（P 3、4 参照）

学校は、地域の皆さんにとって最も身近な公共施設です。地域の調和を図り、まちなみに配慮した、親しみが持てる施設とします。また、地域と一体となって学校の特色や魅力をさらに高められるよう、多様な使い勝手に配慮した施設とします。

6 地域防災の拠点としての施設（P 4 参照）

区立学校は足立区地域防災計画において、第一次避難所・緊急避難建物として指定されています。万一の災害に備え、避難所としての機能が十分発揮できる施設整備を行います。

※ 令和元年台風19号の教訓を受けて、水害対策等を行います（詳細は11ページに記載）。

7 地域に開かれた施設（P 4 参照）

学校は地域との連携と豊かな区民文化を育む「地域コミュニティ」の場でもあります。PTAや開かれた学校づくり協議会などの活動はもちろん、学校開放利用団体の方にも使いやすい施設とします。

新たな生活様式への対応や環境への配慮

8 健康で快適な生活を送ることのできる施設（P 4 参照）

感染症予防の観点から、学校生活においても新たな生活様式への対応が求められています。学校教育を行う上で、十分に保健衛生に配慮した施設とします。

9 利用しやすく人と環境にやさしい施設（P 4、5 参照）

学校は児童や先生を中心として、保護者や地域の皆さんなどの様々な方が利用する施設です。ユニバーサルデザインの考えを取り入れ、高齢者や障がいがある方でも利用しやすい、人にやさしい施設とします。また、公共施設として、緑化・太陽光パネルの設置・照明のLED化など、可能な限り省エネルギー化に努め、自然環境の負荷の低減に配慮した施設とします。

II 基本計画

基本方策（基本構想『基本方針』への対応）

1 快適で安全な生活環境が整った施設	
(1)	普通教室は南向きの教室配置を重視した計画とし、良好な採光・通風を取り込みます。夏季・冬季においても、空調設備により快適な学習環境を整えます。
(2)	明るく清潔感のあるトイレ・手洗いを計画し、心地良い学校生活の場とします。
(3)	内部空間の木質化を図り、暖かみと落ち着きが得られる空間計画とします。
(4)	教職員が児童の様子を確認しやすいよう、校庭側に職員室を配置します。
(5)	外部からの出入口には防犯カメラやオートロック機能を設け、校内のセキュリティを強化します。
2 時代の変化に対応できる施設	
(1)	多目的教室を普通教室へ転用可能とするなど、児童数の増減に柔軟に対応できる施設計画とします。
(2)	特別活動室は可動間仕切りを設置し、学年別授業や個別学習、小体育館としての利用など活動単位の変化に対応できる計画とします。
3 成長を実感できる教育施設	
(1)	個別指導教室・特別支援教室を設け、個別・習熟度別に学習できる施設構成とします。
(2)	P T A室・地域連携室及び放課後子ども教室、学童保育室を校舎内に一体的に整備し、保護者や地域の方が児童の学校生活を見守ることができる施設とします。
(3)	共用空間において、作品や教科に関する情報展示などを行えるスペースを設け、児童が日常生活の中で意欲的に情報を取得し、成長を実感できる施設とします。
(4)	図書室は、豊富な蔵書数に加えて、個別学習デスクや畳コーナーなど、多様な場面で活用できる閲覧空間を設け、充実した学習空間とします。
4 情報社会に対応できる施設	
(1)	図書室は、児童が自主的に調べて学習できる環境を整備します。
(2)	各階の共用空間に図書コーナーを設け、自然に本に触れ読書の機会が多くなる空間を計画します。
(3)	主要な室に LAN 設備を設け、校内全体で情報通信が可能な計画とします。
5 地域のシンボルとしての施設	
(1)	校舎は周辺街区の住環境に配慮し、調和のとれた施設規模とします。
(2)	バルコニーや庇によりできる陰影効果により、周辺への圧迫感を抑える外観計画とします。
(3)	学校の特色である金管バンド活動を考慮し、高い防音性能を持つ体育館・音楽室・視聴覚室とします。
(4)	校庭はサッカーコート（73m×40m）を確保できる大きさとしてします。

II 基本計画

5 地域のシンボルとしての施設	
(5)	縦割り活動、異学年交流を想定したセンターホール（吹き抜け空間）及び大階段を設けます。大階段をステージとし、歌や金管バンドの演奏発表など多様な使い方が可能であり、児童や教職員、学校関係者などが集う空間を計画します。
6 地域防災の拠点としての施設	
令和元年の台風19号の教訓を受けて下記の対策を行います。	
●水害対策	
(1)	近傍の河川氾濫による冠水レベルを考慮し、体育館及び防災備蓄倉庫を2階に配置することで洪水時の避難に対応します（P.17★1）。
(2)	災害対策の拠点となる職員室は体育館同様2階に計画し、避難者への炊出し支援が可能となる家庭科室も2階に配置します（P.17★2）。
(3)	主要な電気設備機器は水没しないように2階以上に配置します。また、非常用発電設備により災害による停電時でも一部のコンセントが利用できる計画とします（P.15★3）。
●その他の災害対策	
(1)	停電によりエレベーターが利用できない期間、上階に移動する事が困難な方のために一時的に避難できる空間を1階に設ける計画とします（P.16★4）。
(2)	体育館は冷暖房機を設置し、季節を問わず避難できる環境とします（P.17★5）。
(3)	備蓄倉庫やカマドベンチなどを設けます（P.15・16・17★6）。
(4)	プールの水は消火用水として活用するとともに、災害発生時におけるマンホールトイレの排水に利用できる計画とします（P.15★7）。
7 地域に開かれた施設	
(1)	P T A・地域連携室・放課後子ども教室を設け、保護者や地域の方にも利用しやすい施設とします。
(2)	体育館や校庭などの開放エリアを明確にし、わかりやすい動線計画とします。
8 健康で快適な生活を送ることのできる施設	
(1)	感染症対策として主な避難所となる体育館を中心に、十分に換気が行えるよう空気を循環させる構造とします。
(2)	普通教室の大きさを縦8m×横8mとし、室内の家具を移動可能な構造とすることにより、感染症対策に有効な最低限の座席間隔を確保できるものとします。
(3)	児童が使用する手洗い水栓等の衛生器具は非接触型とし、衛生面での配慮を行います。
9 利用しやすく人と環境にやさしい施設	
(1)	バリアフリーに配慮した計画とし、段差を設けず、スロープやエレベーターを設置する等、高齢者や車いす利用者にとっても利用しやすい施設とします。

II 基本計画

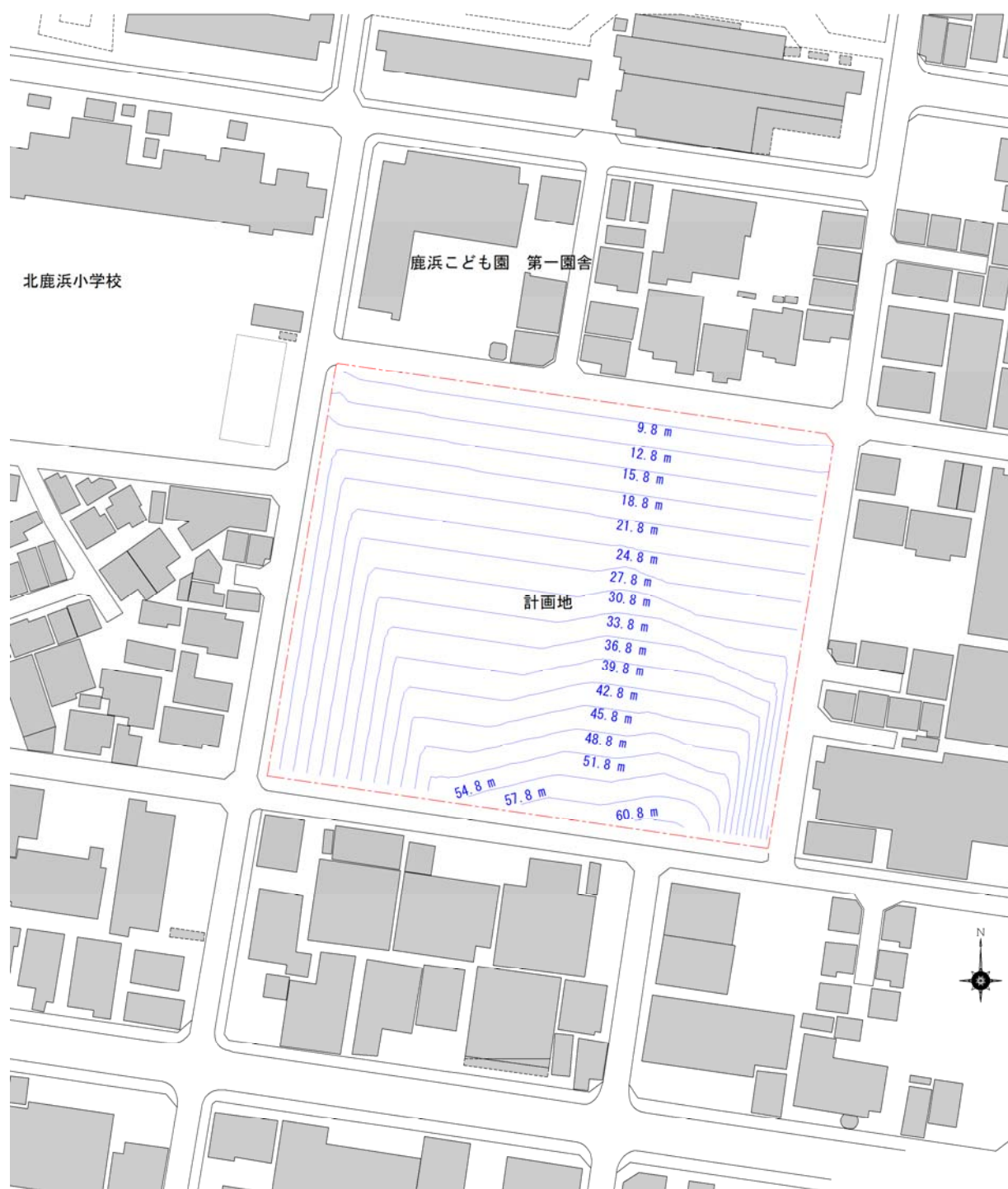
9 利用しやすく人と環境にやさしい施設	
(2)	児童や来校者にとって、わかりやすく楽しいサインや案内板を計画します。
(3)	良好な自然採光、通風性に配慮し、中庭や吹き抜け空間を計画します
(4)	校舎外周部にはバルコニーや庇を設け、夏期の日射抑制及び雨天時における窓の開放に配慮します。
(5)	敷地内の緑化を積極的に行い日射熱の緩和を図るとともに、潤いのある外構計画を行います。また、屋上には太陽光発電パネルを設置し再生可能エネルギーの活用を積極的に行います。

Ⅲ 資料編（基本構想）

1 敷地概要

所在地	足立区鹿浜五丁目18番1号
敷地面積	11,647 m ²
用途地域	第一種住居地域
容積率	200%（容積率低減係数4/10）
建ぺい率	60%
道路斜線制限	勾配1.25
隣地斜線制限	勾配1.25 + 2.0m
北側斜線制限	制限なし
防火指定	準防火地域
高度地区	第2種高度地区
日影規制	4時間・2.5時間 測定面4m（第一種住居地域）
道路幅員	東側幅員6.0m・西側幅員7.8m 南側幅員7.8m・北側幅員6.0m
その他	足立区公共施設等整備基準 ・ 自主管理歩道の整備（幅員2m） ・ 景観条例及び景観計画 ・ 雨水流出抑制 ・ 防犯設計ガイドライン ・ 足立区みどりの保護育成条例（緑化基準） ・ 足立区公共建築物整備基準 ・ 再利用対象物及び廃棄物保管場所等設置 足立区中高層建築物等の建築に係る紛争の予防及び調整条例 東京都福祉のまちづくり条例 東京都建築安全条例 東京都環境確保条例第117条

・ 逆日影図



Ⅲ 資料編（基本構想）

2 施設概要

（1）施設規模

- ① 構造：鉄筋コンクリート造
- ② 階数：5階建て
- ③ 延床面積：9,500㎡程度

（2）標準施設一覧

	室名	計画室数	計画規模	備考
①教室	普通教室	18	基準(1)	2階以上に配置
	多目的教室	3	1~1.5	普通教室への転用を考慮 2階以上に配置
②特別教室	特別支援教室	1	1	個別指導室+集団活動室
	個別指導教室(そだち)	2	0.5	個別指導室
	理科室(準備室)	1	1.5+0.5	
	音楽室(準備室)	1	2+1	金管バンドの活動スペース と防音性を考慮
	図工室(準備室)	1	1.5+0.5	
	家庭科室(準備室)	1	1.5+0.5	
	ランチルーム 兼視聴覚室	1	1.5	1階に配置し、災害時は上階 への移動が困難な方のため の避難場所として利用する。
	図書室(準備室)	1	3~4+0.5	
	特別活動室	2	1	
③屋内運動場 (体育館)	アリーナ		適宜	洪水時の避難場所として2 階に計画。700㎡程度
	ステージ		適宜	
	体育倉庫		適宜	
④プール	プール			25m×6コース
	管理室	1	適宜	
	プール用具室	1	適宜	
	プール機械室	1	適宜	
	更衣室(男子・女子)	各1	適宜	
	トイレ(男子・女子)	各1	適宜	

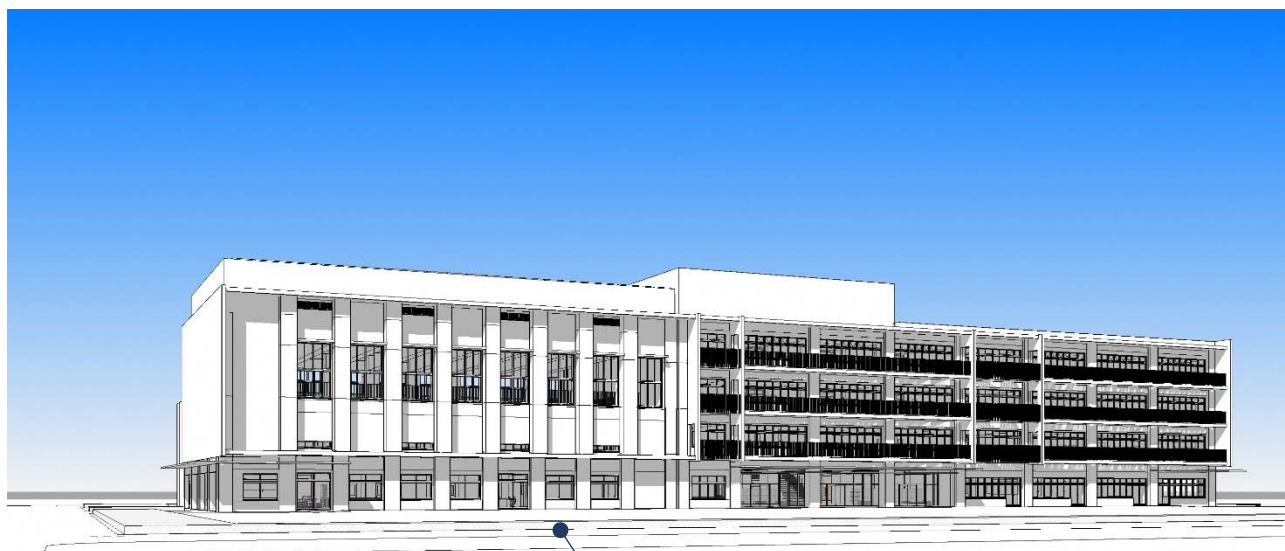
Ⅲ 資料編（基本構想）

	室名	計画室数	計画規模	備考
⑤管理諸室	職員室	1	2	災害時の活動拠点として荒川氾濫時想定水位 3.4m より高い2階に計画
	校長室	1	0.5	職員室に隣接
	事務室	1	0.5	
	用務主事室	1	0.5	来校者の受付
	保健室	1	1～1.5	
	相談室	1	0.5	保健室に隣接 プライバシーに配慮
	放送室	1	適宜	体育館の放送室と兼用
	印刷室	1	0.5	職員室と事務室の近く
	職員更衣室(男子・女子)	1	0.5	
	職員・来賓用トイレ	1	0.5	
	会議室	1	1	
⑥その他	給食室（調理室）	1	適宜	400 m ² 程度
	配膳室	各階 1	適宜	
	昇降口	1	適宜	
	児童用トイレ (男子・女子)	各階 2	適宜	
	多目的トイレ	各階	1	1-2階はオストメイトを含むフルスペックとする
	物品庫・教材庫	各階複数	1	分散配置
	防災備蓄倉庫	2	適宜	屋内用と屋外用 2か所
	P T A室	1	0.5	
	地域連携室	1	1	
	放課後子ども教室	1	1	学童保育室と隣接
	学童	1	1.5～2	玄関・水周りは専用とする
	子育てサロン	1	1	玄関・水周りは専用とする
⑦付属施設	校庭			
	体育倉庫			屋外用トイレを併設
	ゴミ置き場			
	自転車置場			

3 配置計画の比較表

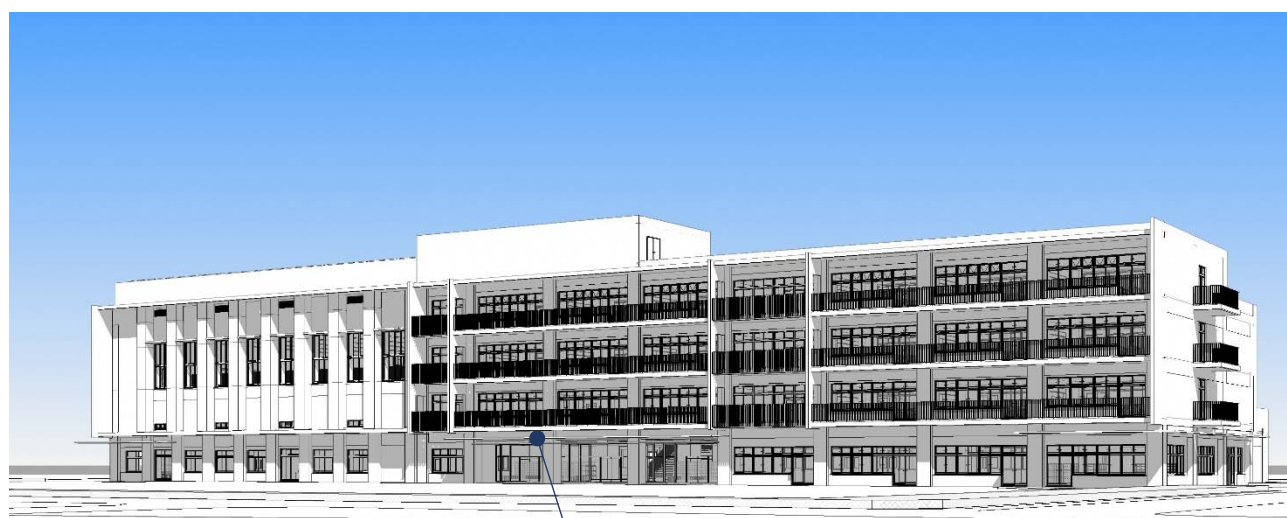
	A案(北校舎案)	B案(南校舎案)	C案(東校舎案)	D案(西校舎案)
配置イメージ				
普通教室の向き	南 日当たりがよい	南 現状、南街区は低層建物なので日当たりがよい	東 現状、東街区は低層建物なので午前中は日が入る	東 午前中は日が入る
教室への西日の影響	ほとんどなし	ほとんどなし	特別教室等の影響が大きい	特別教室等の影響が大きい
主な児童の通学動線 (今後検討)	東・西	西・南	南・東	南・西
グラウンドの広さ	約3500㎡	約5000㎡	約4000㎡	約4000㎡
トラック・直線の長さ	150mトラック、直線60m	150mトラック、直線60m	150mトラック、直線60m	150mトラック、直線60m
グラウンドの配置・向き	南 校舎による影は発生しない	北 校舎の影が落ちる。 降雨後は人工芝なので影響は少ない	西 午前中校舎の影が落ちる。 降雨後は人工芝なので影響は少ない	東 午後校舎の影が落ちる 降雨後は人工芝なので影響は少ない
グラウンドの形状	整形・やや横長	整形	整形	整形
日影	日影規制の影響を避ける為、北面に空地を確保する必要がある	近隣への影響は最も少ない	近隣への影響は少ない	近隣への影響は少ない
建物（普通教室・共用室）からの騒音	境界からの距離が確保出来る為有利。南街区に住宅が建設されても環境はかわらない。	南街区への影響は大きいが住宅がほとんど無いという意味では影響は少ない。	東側街区への影響が大きい	西側街区への影響が大きい
グラウンドからの騒音	現状からの変化は少ない。 西・南側街区への影響がある	現状からの変化が大きい。 北側街区への影響が大きい	現状からの変化が大きい。 北・西側街区への影響が大きい	現状からの変化がある。 北・東側街区への影響が大きい
視線影響	共用室と北側街区への影響が大きい	教室と南側街区への影響は有るが、住宅がほとんど無いという意味では影響は少ない。	教室と東側街区への影響が大きい	共用室と西側街区への影響が大きい
総合評価	教室・グラウンド共に陽あたりの良い計画。 既設の中学校とほぼ同じ配置なので、周辺地域への建物影響の変化が少ない。	建物に日影規制の影響を避けて南配置とし、グラウンドを広くする計画。 周辺地域への影響は比較的少ない。	グラウンドが比較的整形となる計画。 教室の環境はあまり良く無いが、周辺地域への影響は比較的少ない。	グラウンドが比較的整形となる計画。 教室の環境はあまり良く無いが、周辺地域への影響は比較的少ない。

4 外観イメージ（案）



南西側立面イメージ

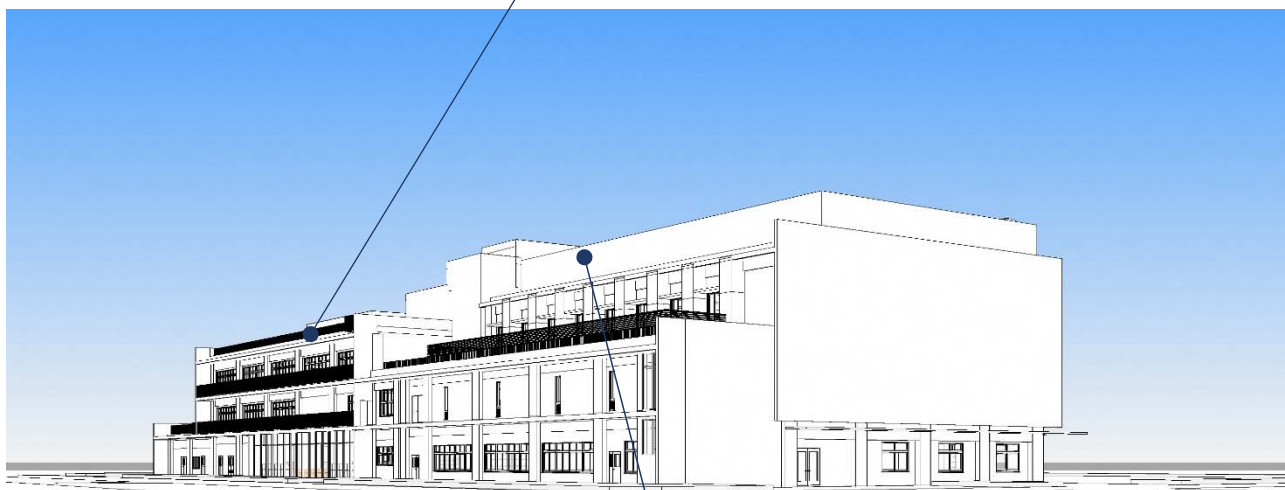
グラウンドを見渡せるゆとりあるアプローチを計画します。



南東側立面イメージ

室内の日射抑制と校舎のメンテナンスに有効なバルコニーを教室の外に計画します。

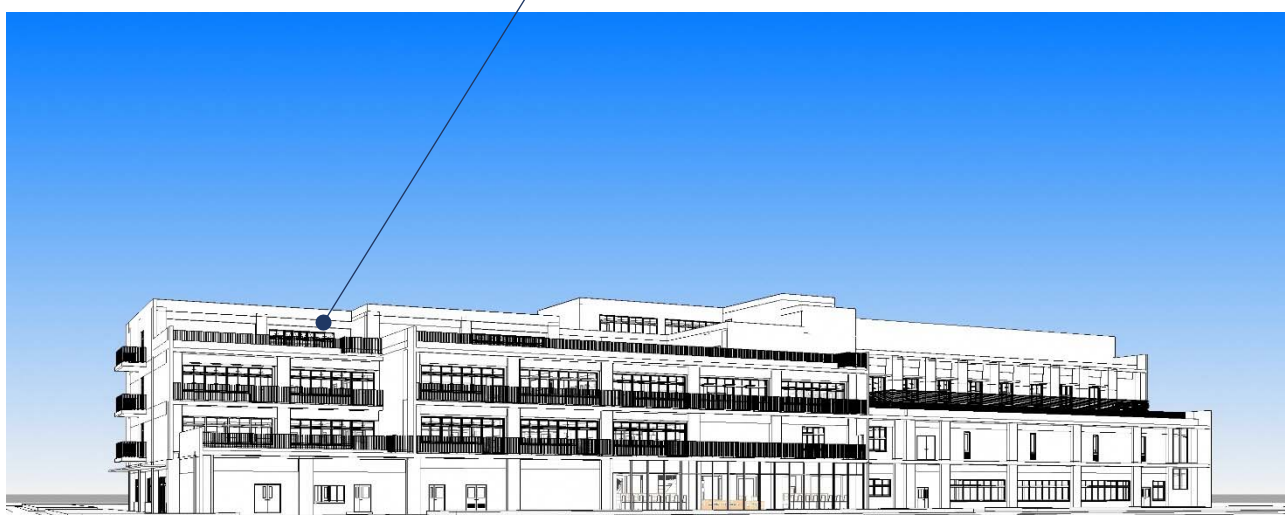
近隣への日影の影響に配慮してセットバックした北面は
屋上テラスとして有効に計画します。



北西側立面イメージ

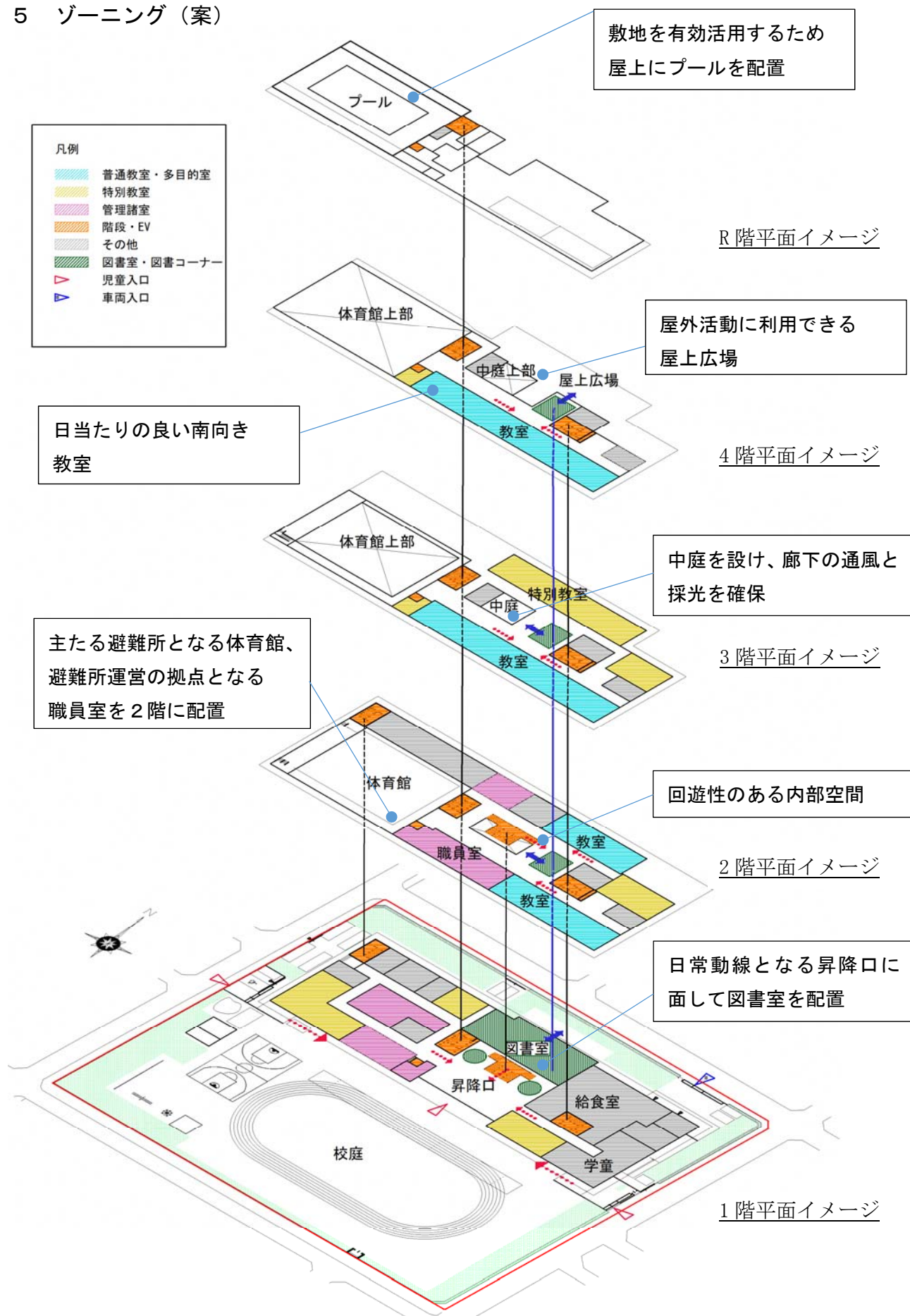
屋上の解放的なプールは
防音と目隠しを兼ねた壁面で囲います。

セットバックした外観とバルコニーによって、
隣地への圧迫感を和らげます。



北東側立面イメージ

5 ゾーニング（案）



※ 図は現時点での計画案であり、今後の検討に伴い、変更の可能性があります。

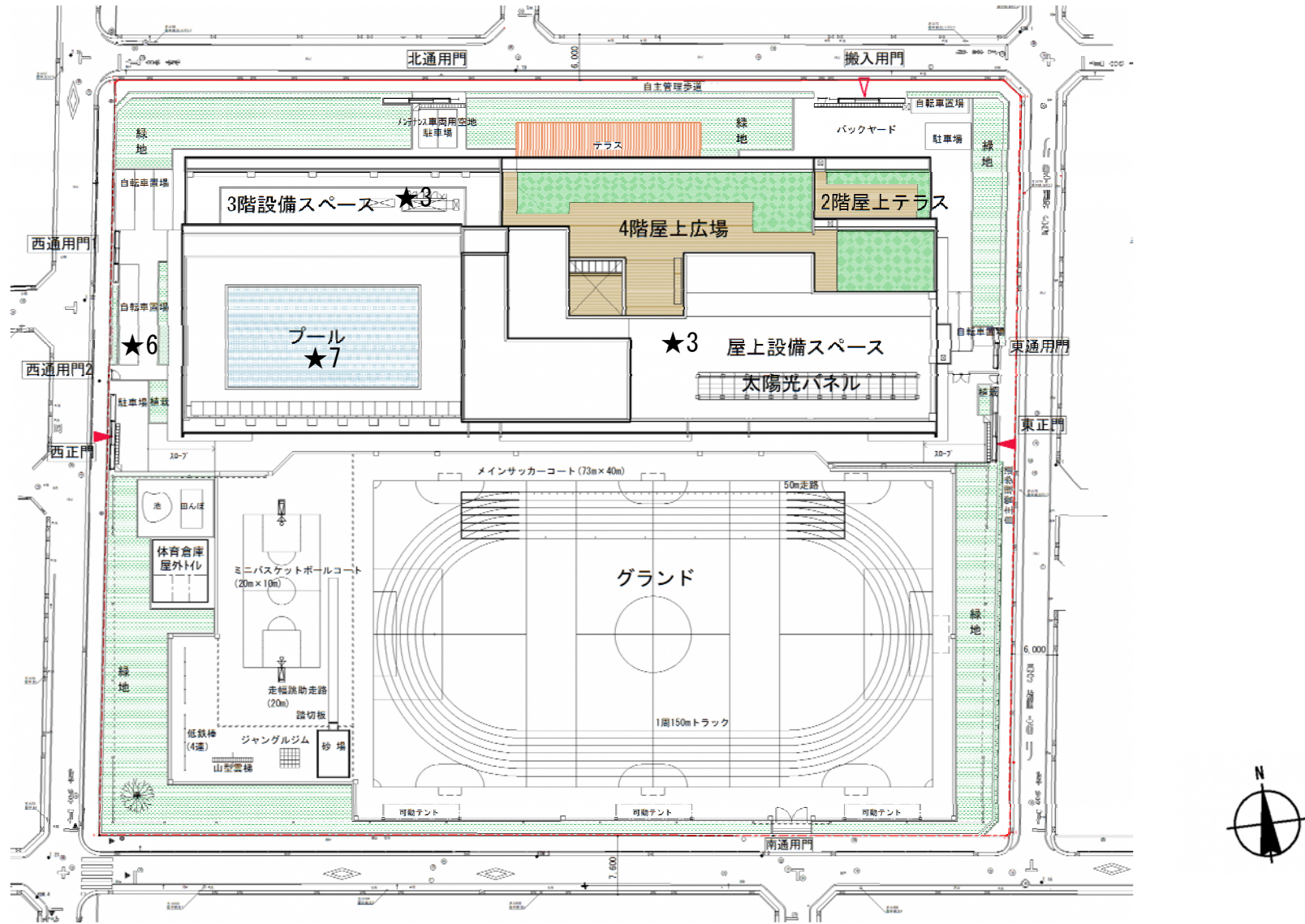
6 スケジュール（案）

	令和元年度			令和2年度												令和3年度											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
鹿浜西小学校	運営																										
北鹿浜小学校	運営																										
統合新校	新校舎設計																										
	旧鹿浜中学校解体工事																										
発注準備																											
施工業者選定																											
新校舎建築工事																											

	令和3年度			令和4年度												令和5年度											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
鹿浜西小学校	運営																										
北鹿浜小学校	運営																										
統合新校	新校舎建築工事																										
	引越し																										
引越し																											
開校準備 4月開校																											
学校運営																											

IV 資料編 (基本計画)

1 配置計画 (案)



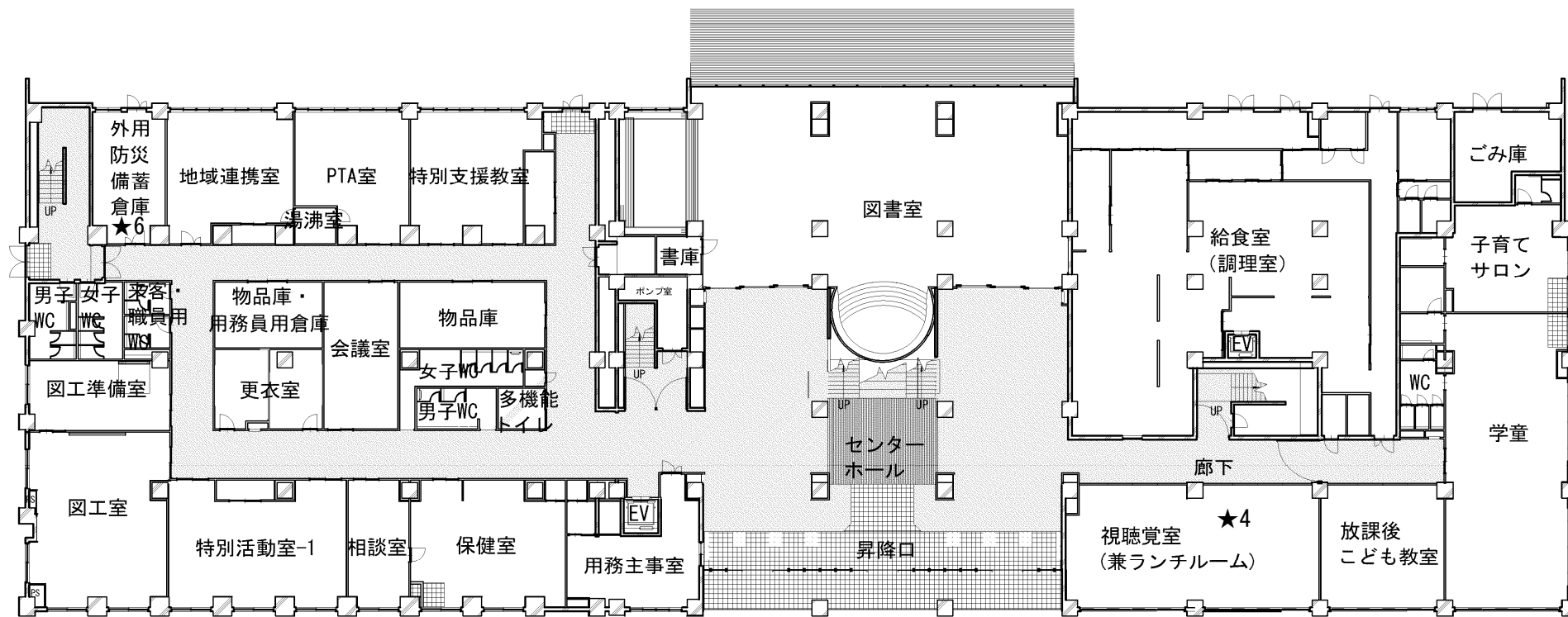
配置図 (1/800)

※図は現時点での計画案であり、今後の検討に伴い変更の可能性があります。

IV 資料編（基本計画）

2 平面計画（案）

16



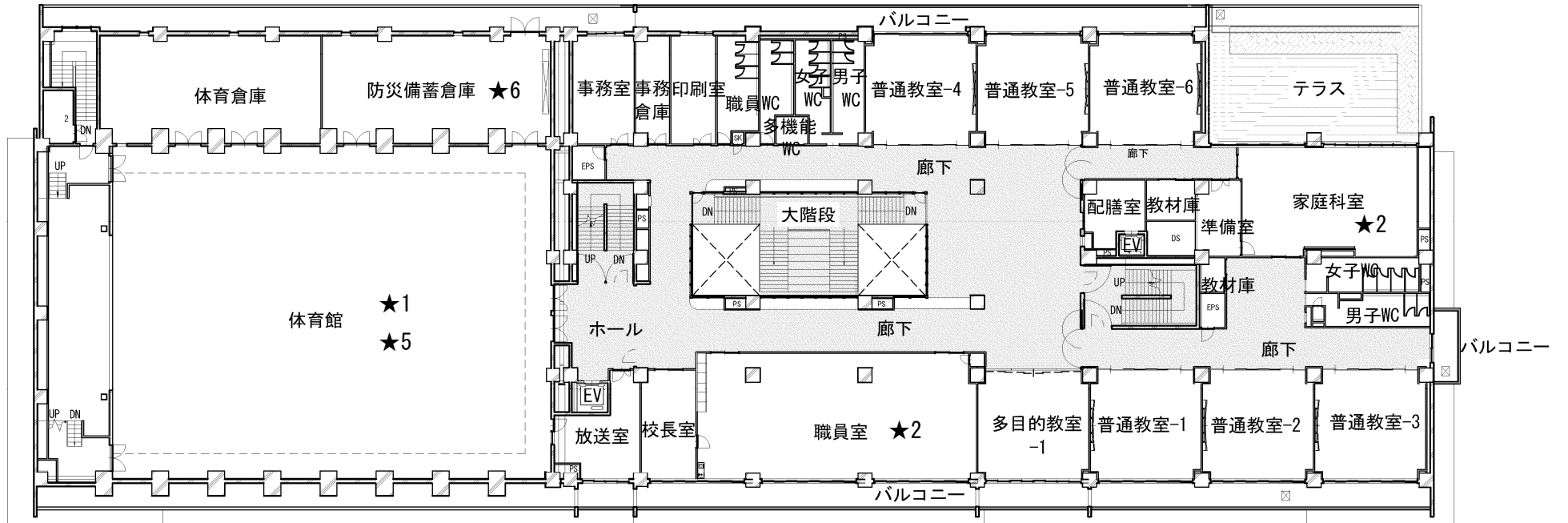
1階平面図（1／500）



※図は現時点での計画案であり、今後の検討に伴い変更の可能性があります。

IV 資料編（基本計画）

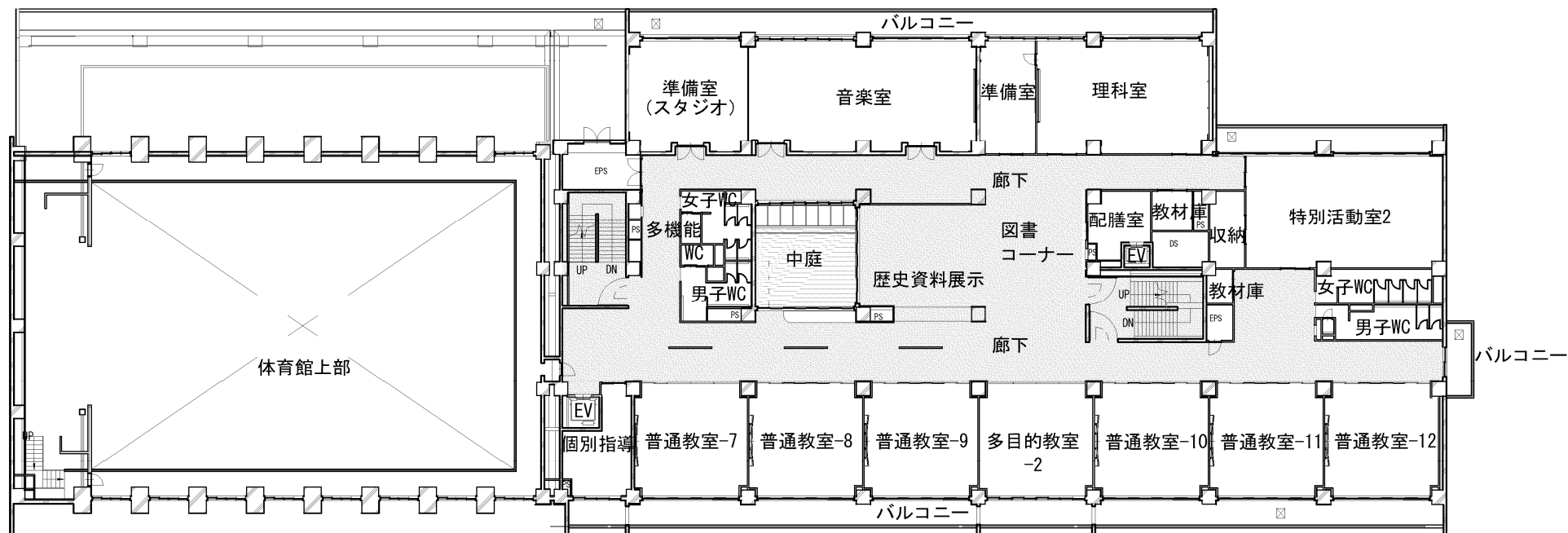
17



2階平面図 (1 / 500)



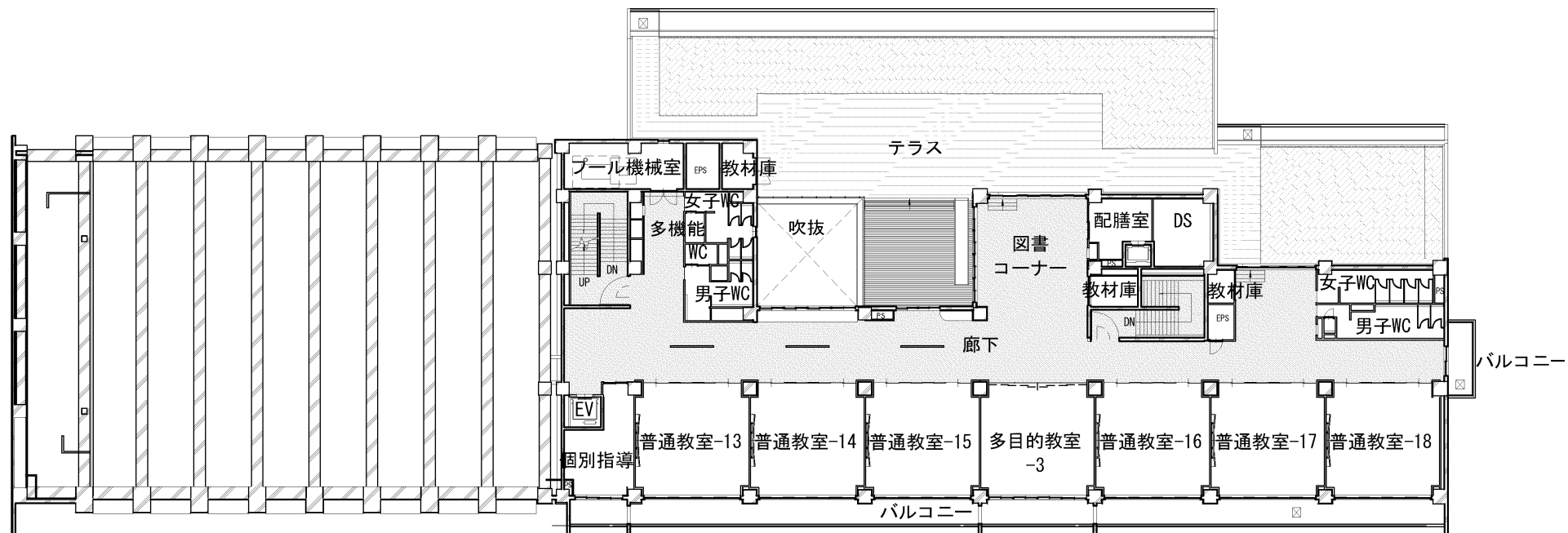
※図は現時点での計画案であり、今後の検討に伴い変更の可能性があります。



3階平面図（1／500）



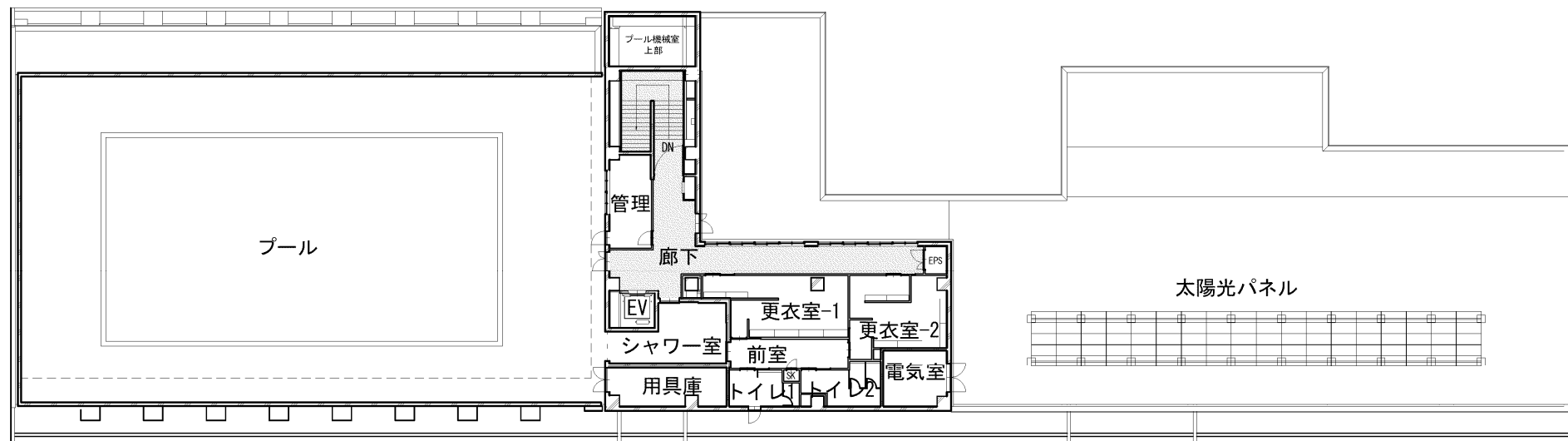
※図は現時点での計画案であり、今後の検討に伴い変更の可能性があります。



4階平面図（1／500）



※図は現時点での計画案であり、今後の検討に伴い変更の可能性があります。



5階平面図（1／500）



※図は現時点での計画案であり、今後の検討に伴い変更の可能性があります。

IV 資料編（基本計画）

3 施設一覧

	室名	計画面積			備考
		面積 (㎡)	室数	計 (㎡)	
①教室	普通教室	64.0	18	1152	8m×8m 2階以上に配置
	多目的教室	64.0	3	192	普通教室への転用を考慮 2階以上に配置
②特別教室	特別支援教室	77.9	1	77.9	個別指導室+集団活動室
	個別指導教室（そだち）	31.8	2	63.6	個別指導室 3階・4階に配置
	理科室	100.2	1	100.2	
	理科準備室	32.3	1	32.3	薬品類の保管に配慮
	音楽室	124.7	1	124.7	防音性を考慮
	音楽準備室	65.8	1	65.8	金管バンドの活動スペースを考慮
	図工室	99.8	1	99.8	
	図工準備室	42.0	1	42.0	陶芸窯の設置について配慮
	家庭科室	107.4	1	99.6	災害時の炊出し支援が可能となるよう配慮
	家庭科準備室	17.7	1	17.7	
	ランチルーム兼視聴覚室	129.5	1	129.5	1階に配置し、災害時は上階への移動が困難な方のための避難スペースとして利用する。
	図書室	372.4	1	372.4	
	特別活動室	95.6	2	191.2	
③屋内運動場 (体育館)	アリーナ	746.4	1	746.4	洪水時にも対応できる避難場所として2階に配置。
	ステージ	128.0	1	128.0	
	体育倉庫	127.3	1	127.3	
	防災備蓄倉庫	132.0	1	132.0	避難場所となるアリーナに隣接
④プール	プール	—	1	—	体育館の上に配置。 25m×6コース
	管理室	17.8	1	17.8	
	プール用具庫	21.5	1	21.5	
	プール機械室	29.1	1	29.1	
	更衣室（男子・女子）		各1		
	トイレ（男子・女子）		各1		
	シャワー室	25.3	1	25.3	

※現時点での計画案であり、今後の検討に伴い変更の可能性があります。

IV 資料編（基本計画）

	室名	計画面積			備考
		面積 (㎡)	室数	計(㎡)	
⑤管理諸室	職員室	184.6	1	184.6	災害時の活動拠点として荒川 氾濫時想定水位 3.4m より高い 2階に配置
	校長室	32.0	1	32.0	職員室に隣接
	事務室	36.8	1	36.8	
	用務主事室	53.5	1	53.5	来校者の受付
	保健室	81.2	1	81.2	1階の校庭に面した位置に配置
	相談室	33.2	1	33.2	保健室の横
	放送室	34.8	1	34.8	体育館の放送室と兼用
	印刷室	26.4	1	26.4	職員室と事務室の近く
	職員更衣室(男子・女子)	各 18.2	2	36.4	
	職員・来賓用トイレ	41.6	1	41.6	1階と2階に配置
	会議室	46.0	1	46.0	
⑥その他	給食室 (調理室)	331.0	1	331.0	1階に配置。ドライ仕様。 食材搬出入の動線に配慮。 換気設備は近隣に配慮し、屋 上階で排気。
	配膳室	20.0	3	60.0	各階に配置
	昇降口		1		
	児童用トイレ				各階に2か所ずつ配置
	多目的トイレ				1-2階はオストメイトを含むフルスペック
	物品庫・教材庫				各階分散配置
	屋外用防災備蓄倉庫	41.2	1	41.2	
	P T A室	57.2	1	57.2	給湯室を地域連携室と共有
	地域連携室	63.7	1	63.7	給湯室を P T A 室と共有
	放課後こども教室	64.0	1	64.0	学童と隣接
	学童	180.0	1	180.0	玄関・水周りは専用とする
	子育てサロン	65.7	1	65.7	玄関・水周りは専用とする
⑦付属施設	校庭	—	—	—	直線 50m、トラック 150m
	体育倉庫		1		屋外用トイレを併設
	ゴミ置き場		1		
	自転車置場	—	3	—	

※現時点での計画案であり、今後の検討に伴い変更の可能性があります。